

分析診断書 解説

◆指標がY点に占める影響度を表しています。

Y点の最高値1,595点を100%とした場合の、各指標の影響度を表しています。影響度が高いほどY点における重要性が高いといえます。そのため、影響度の高い指標においては、特に「得点率」の状況について確認することが重要となります。各指標は相互に関連性がありますので、貴社の状況を分析する際の重要性の判断基準としてご活用ください。

◆各指標における期別の順位を表しています。

全国、全国規模、都道府県、市区町村別に区分し、貴社の順位を表しています。当該地域の中での貴社の順位を参考にしてください。特に、「全国規模別」の順位に着目し、同規模の他社の状況との比較にご活用ください。

◆各指標における期別の推移を表しています。

全国、規模別、都道府県、市区町村の平均率と比較して、貴社の3期分の推移を表しています。縦軸は各指標の上限值から下限値を示していて、各平均率より貴社の位置が上にあるほど、この指標では高い得点を得ていることになります。会社規模は、当期の完成工事高から右記の7つに分類しています。

- ・5千万円未満
- ・5千万円以上 1億円未満
- ・1億円以上 5億円未満
- ・5億円以上 10億円未満
- ・10億円以上 20億円未満
- ・20億円以上 50億円未満
- ・50億円以上

◆各指標の「得点率」を100%にするための参考例を示しています。

参考例は「得点率」を100%にするための極端な例になりますのでこういった方向に金額が変われば「得点率」が向上するのをご参考にご活用ください。なお、該当する指標についてのみの見解になりますので、他指標にマイナスの影響を与えることもあります。他指標に及ぼす影響については、弊社システムでシミュレーションを行っていただくことをお勧めいたします。

◆各指標の散布図の中に、貴社の位置を示しています。

横軸を完成工事高、縦軸を各指標の数値として散布図を作成し、その中に貴社の位置を示しています。同規模の他社が集中している範囲と貴社の位置とを比較し、大きく外れていないか等の確認にご活用ください。概括的・視覚的な確認となります。

◆各指標の得点率を表しています。

「得点率」が100%に満たない場合には、Y点をさらに増加させることが理論的には可能となります。また、「得点率」が低く「影響度」が高い指標においては、Y点を増加させる余地が十分に残っているといえます。指標の数値をY点にするには係数(傾き)をかけ、P点にするには、さらに0.2を掛けます。係数(傾き)は指標毎に異なります。※「傾き」については裏面をご確認ください。

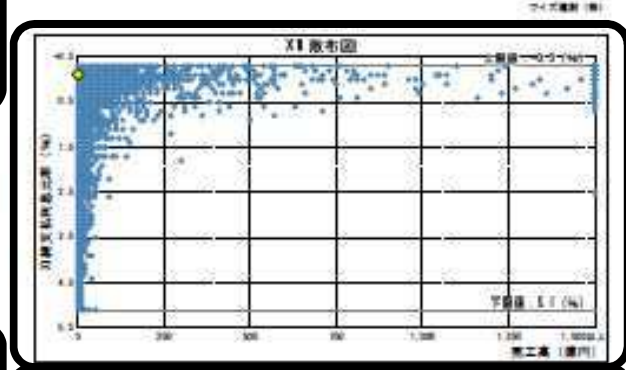
X1 特許払利息比率

支払利息 (D) - 受取利息配当金 (099) × 100 = -0.118
売上高 (933,977)

Y点: 23.26

Y点の最高値1,595点を100%とした場合の、各指標の影響度を表しています。

Y点に占める割合は23.26%で、一番影響が大きい指標です。



X1 特許払利息比率	期別別 (平均値)	期別別 (標準偏差)	順位 (全国)
X1	-0.118	-0.100	-0.118
(前年との増減)	-	-0.001	-0.001
全国	会社数: 103,207社 業種: 0.291 (上位 0.0%) 平均値: 0.234	会社数: 102,905社 業種: 0.282 (上位 0.0%) 平均値: 0.070	848,309社 7,25166 (上位 0.0%) 0.070
全国規模別	会社数: 48,101社 業種: 1.001 (上位 0.0%) 平均値: 0.031	会社数: 47,341社 業種: 1.330 (上位 0.0%) 平均値: 0.702	47,704社 1,71766 (上位 0.0%) 0.702
全国規模別	会社数: 6,944社 業種: 2.000 (上位 0.0%) 平均値: 1.004	会社数: 6,899社 業種: 2.000 (上位 0.0%) 平均値: 1.070	6,944社 2,000 (上位 0.0%) 1.070
都道府県別	会社数: 290社 業種: 0.000 (上位 0.0%) 平均値: 0.000	会社数: 289社 業種: 0.000 (上位 0.0%) 平均値: 0.000	290社 0.000 (上位 0.0%) 0.000
市区町村別	会社数: 0社 業種: 0.000 (上位 0.0%) 平均値: 0.000	会社数: 0社 業種: 0.000 (上位 0.0%) 平均値: 0.000	0社 0.000 (上位 0.0%) 0.000

得点率 (Y点・P点換算)

	X1	Y点換算 (X1×P-77,754)	P点換算 (Y点換算×0.2)
貴社	-0.118	9,024	1,805
Y点	-0.200	23,200	4,640
P点	-0.700	-26,752	-5,350
上限まで	0.104	16,214	3,243

X1をY点に換算するには、X1に傾き -77,754 をかけます。
X1をP点に換算するには、Y点換算に傾き 0.2 をかけます。

Y点: 23.26%
P点: 5.0%

貴社払利息比率 (X1) は大きく減額されやすい指標ですが、現在貴社11.7点で9,024点換算されています。

X1をY点 (Y点で23,200点) にするために、
・ 傾き0.2の傾き換算を0.2に、受取利息及び配当金を1,113万円 (利率0.1%の営業利益の換算: 1,112,931万円) 増やして、1,012万円とすることにより達成できます。

◆「傾き」とはY点に換算するための数値です。

$$Y点 = 167.3 \times A(経営状況点数) + 583$$

$$-0.4650 \cdot X1 - 0.0508 \cdot X2 + 0.0264 \cdot X3 + 0.0277 \cdot X4 + 0.0011 \cdot X5 + 0.0089 \cdot X6 + 0.0818 \cdot X7 + 0.0172 \cdot X8 + 0.1906$$

X1からX8までの各指標がY点にどのように影響を及ぼすのか、また貴社の指標別のY点の状況を示したのが以下のグラフとなります。

グラフは縦軸をY点、横軸を各指標の数値として表しています。

各指標には上限・下限が設けられていますので、その範囲内でグラフを示すと、一部を切り取ったような線分になります。

この線分の縦軸は各指標がとり得るY点の範囲を示し、横軸は各指標の上限・下限の範囲を示します。

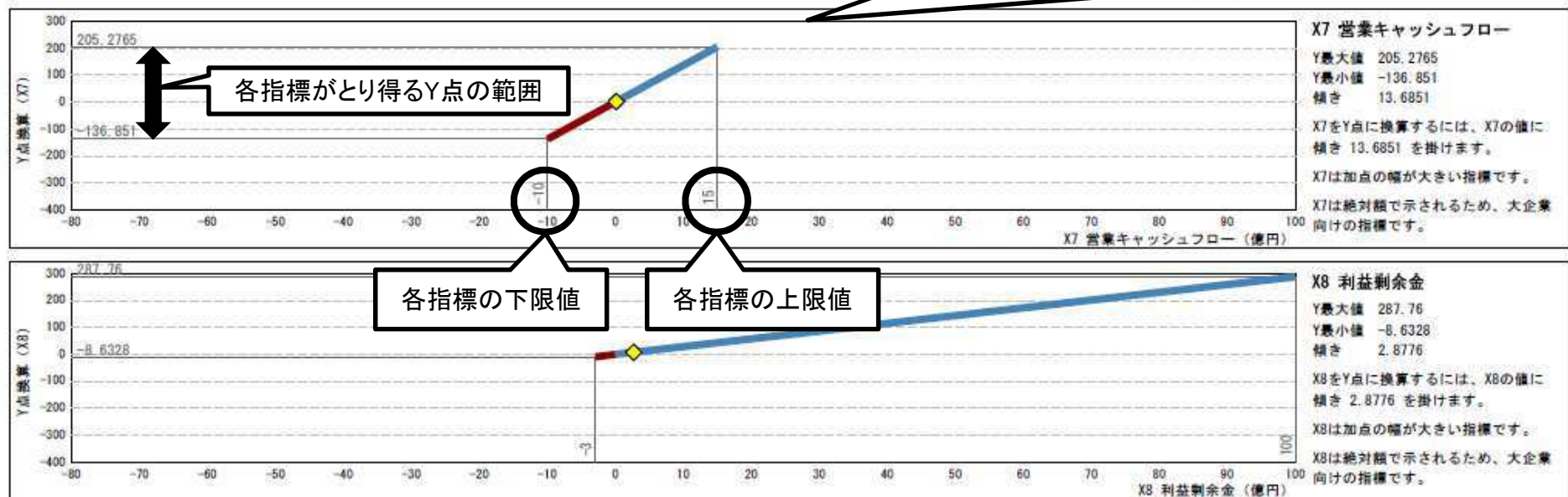
線分の傾きが急なほど各指標がY点に与える影響は急激に変化し、傾きが穏やかなほど各指標がY点に与える影響はゆるやかに変化します。

但し、各指標の変化は計算式に含まれる複数の勘定科目によって影響されることに留意が必要です。

線分上の◇印は貴社の位置を示しており、指標別のY点の状況を確認して頂けます。

そのうえで、◇印が線分の上部に位置している場合には、当該指標においてすでに高評価を得ているため、Y点をさらに向上させることは難しいですが、逆に下部に位置している場合には、Y点をさらに向上できる可能性があるかと判断することができます。

指標別の影響割合と加点幅をご確認いただき、貴社の分析状況をご確認ください。



※各グラフの傾きは、各指標のY点への影響度を示します。傾きが急なほど、指標の点数1に対する影響度が大きくなります。
※各グラフの長さ、傾きの急さは、指標の点数の加点幅を示します。グラフが長いほど、加点幅が広くなります。